

大阪市における地域福祉にかかる実態調査  
報 告 書

(地域福祉の推進役としての地域住民)

令和元年度（2019年）

大 阪 市



# 目次

## 1 調査概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査設計	1
(3) 調査項目	1
(4) 報告書の見方	1
(5) 回収状況	1

## 2 調査結果

(1) だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて	
質問1 居住地の暮らしやすさ	3
質問1-1 居住地の暮らしやすさを感じる点	4
質問2 より暮らしやすい地域であるために必要なこと	5
(2) 地域での支え合い・助け合いについて	
質問3 「つながり」を感じることもあるか	6
質問3-1 地域との「つながり」を感じる時	7
質問4 「つながり」を実感できるためより推進すべきこと	8
(3) 地域福祉活動について	
質問5 地域福祉活動をはじめたきっかけ	9
質問6 地域福祉活動を続けている理由	10
質問7 地域福祉活動を担う上での負担	11
質問8 地域福祉活動に求められていると感じること	12
質問9 地域福祉活動が抱える一番の課題	13
(4) 住民主体の地域課題の解決力強化について	
質問10 地域課題の解決に取り組む体制	14
質問11 地域課題の解決に必要なだと思うこと	15
質問12 地域福祉活動を支援する福祉専門職の認知度	16
質問13 福祉専門職による支援の状況について	17
質問14 福祉専門職による地域福祉活動への支援に期待すること	18
(5) 地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進について	
質問15 住民、地縁団体、行政・社協を除く地域福祉活動への参画主体	19
質問16 住民、地縁団体、行政・社協を除く地域福祉活動の参画主体に 期待すること	20
質問17 地域福祉活動に活用したい社会資源	21
質問18 社会資源を活用しやすくするために必要なこと	22
質問18-1 社会資源の情報を得るための効果的な方法	23

(6) 災害への備えについて	
質問 19	災害発生時に支援や配慮の必要となる人の認知 . . . . . 24
質問 20	大規模災害発生時を想定した地域での備え . . . . . 25
質問 21	認知している防災に関する取り組み . . . . . 26
(7) 地域における見守り活動について	
質問 22	地域での見守り活動の一番の課題 . . . . . 27
(8) 相談支援体制の充実に向けて	
質問 23	地域の人からの相談頻度 . . . . . 28
質問 23-1	地域における相談内容 . . . . . 29
質問 24	生活困窮者自立相談支援窓口の認知 . . . . . 30
質問 25	相談を受けた際につなぐ機関 . . . . . 31
(9) 虐待防止の取り組みについて	
質問 26	虐待が疑われる状況を発見した時の通報(通告) . . . . . 32
質問 27	虐待の通報(通告)先の認知度 . . . . . 33
質問 28	通報(通告)をためらう理由 . . . . . 34
(10) 成年後見制度などの利用促進に向けて	
質問 29	知っている権利擁護の制度・事業 . . . . . 35
質問 30	判断能力の低下に関する相談をつなぐ機関 . . . . . 36

**資料編**

(1) 統計表 . . . . .	資 1
(2) 調査票 . . . . .	資 138

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

この調査は、大阪市の各地域で地域福祉を推進する地域住民を対象に、地域福祉の現状や課題などに対する考えを把握し、大阪市における今後の地域福祉施策の推進に資する資料を得ることを目的に実施した。

### (2) 調査設計

- ① 調査対象
  - ・ 民生委員・児童委員の地区委員長
  - ・ 地域福祉コーディネータなど
- ② 調査期間  
令和元年9月12日～10月25日
- ③ 調査方法  
郵送
- ④ 調査対象者数  
計613人

### (3) 調査項目

- ① だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて
- ② 地域での支え合い・助け合いについて
- ③ 地域福祉活動について
- ④ 住民主体の地域課題の解決力強化について
- ⑤ 地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進について
- ⑥ 災害への備えについて
- ⑦ 地域における見守り活動について
- ⑧ 相談支援体制の充実に向けて
- ⑨ 虐待防止の取り組みについて
- ⑩ 成年後見制度などの利用促進に向けて

### (4) 報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示し、少数第2位を四捨五入した。  
（比率の合計が100.0％にならない場合がある。）
- ② コンピュータ入力の都合上、図表において回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

### (5) 回収状況

- ① 回答者数（回答率）  
490人（79.9％）

# 1 調査概要

## ② 回答者の状況

